

2022年12月8日

日本原子力発電(株)

東海第二発電所 標準応答スペクトルの規制への取り入れに伴う地震動評価の  
審査会合(12月2日)指摘事項について

資料1 東海第二発電所 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について(コメント回  
答:既往の地震動評価の見直し要否に係る検討)

No.	該当 ページ	指摘事項
1	P58~P66	標準応答スペクトル用地盤モデルを用いた場合の留萌波に対する地震動評価結果に関しては、Ss-31を含め既存の全てのSsを超えている周期帯がある。それでもなおSs-31を見直し不要とする点について、根拠が十分でないため、合理的な説明を追加すること。
2	P18	地盤は1つであるところ、2つの地盤モデルを使い分ける合理的な説明が必要である。特に、標準応答スペクトル用地盤モデルの減衰定数について、最新の知見を反映した設定となっているという説明であるならば、留萌用地盤モデルに反映しなくてよい理由を説明すること。

以上